【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【公開番号】特開2008-134049(P2008-134049A)
【公開日】平成20年6月12日(2008.6.12)
【年通号数】公開・登録公報2008-023
【出願番号】特願2008-8034(P2008-8034)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　7/06　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　33/00　(2010.01)
Ｈ０１Ｌ　31/042　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　7/06　Ｃ
Ｈ０１Ｌ　33/00　Ｆ
Ｈ０１Ｌ　31/04　Ｒ

【手続補正書】
【提出日】平成23年1月21日(2011.1.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
送風動力を有する防塵フィルターを用いて作業室をクリーンな環境に維持し、上記作業室から流出する気体の全てが上記防塵フィルターの入り口に入って気体が循環するように構成され、かつ気密性を有し、
上記防塵フィルターの風量をＶ、上記作業室の体積をV_0、上記作業室の内面積をＳ、上記作業室の内面の単位面積・単位時間当たりのダスト微粒子の脱離レートをσ、設置環境のダスト密度をN_0、上記防塵フィルターの粉塵捕集効率をγとし、
【数１】

$$\alpha_n = \frac{S\sigma}{V_o}$$

および
【数２】

$$\beta_n = \frac{\gamma V}{V_o}$$

と定義したとき、上記作業室内のダスト密度ｎ（ｔ）（ｔは運転開始後の時間）が

【数３】

$$n(t)=\frac{\alpha_n}{\beta_n}+(N_0-\frac{\alpha_n}{\beta_n})e^{-\beta_n t}$$

で表されることを特徴とするクリーンユニット。

【請求項２】

上記作業室に投入／取り出しボックスが取り付けられ、上記投入／取り出しボックスが取り付けられている部分の上記作業室の壁に、密閉遮断板により開閉可能に開口部が設けられ、上記投入／取り出しボックスの上記作業室と反対側の端は、密閉遮断板により開閉可能に構成されている請求項１記載のクリーンユニット。

【請求項３】

クリーンな環境に維持することができる作業室を有する複数のクリーンユニットが連結されてなるクリーンユニットシステムにおいて、

上記複数のクリーンユニットのうちの少なくとも一つのクリーンユニットが、

送風動力を有する防塵フィルターを用いて作業室をクリーンな環境に維持し、上記作業室から流出する気体の全てが上記防塵フィルターの入り口に入って気体が循環するように構成され、かつ気密性を有し、

上記防塵フィルターの風量をＶ、上記作業室の体積をV_0、上記作業室の内面積をＳ、上記作業室の内面の単位面積・単位時間当たりのダスト微粒子の脱離レートをσ、設置環境のダスト密度をN_0、上記防塵フィルターの粉塵捕集効率をγとし、

【数１】

$$\alpha_n=\frac{S\sigma}{V_o}$$

および

【数２】

$$\beta_n=\frac{\gamma V}{V_o}$$

と定義したとき、上記作業室内のダスト密度ｎ（ｔ）（ｔは運転開始後の時間）が

【数３】

$$n(t)=\frac{\alpha_n}{\beta_n}+(N_0-\frac{\alpha_n}{\beta_n})e^{-\beta_n t}$$

で表されることを特徴とするクリーンユニットシステム。